

国民健康保険特別会計

質疑

- ①一世帯当たりの平均所得、所得の無い方の割合と減免の対象となった方の割合を問う。
- ②診療報酬明細書点検等業務委託について、AIを活用してのメリットを問う。
- ③被保険者数の減少について、近年の傾向を問う。
- ④データヘルス事業、個人へのインセンティブについて、令和2年度から地域振興カードをお持ちの方へのポイント付与が廃止となり、その後の影響と改善策を問う。

意見

①コロナ減免について、減免申請が多かった。引き続き注視してもらいたい。またレセプト点検について、かなり委託料が削減された。市民サービスの維持向上のために引き続き進め、スマート自治体を目指してもらいたい。

後期高齢者医療特別会計

質疑

- ①医療費の自己負担増により、加入者全体のうち、負担増になる割合はどのくらいか。

意見

①高齢者が安心して医療を受けられない社会はおかしい。

介護保険特別会計

質疑

- ①認定有効期間が延びたことにより、認定審査会の開催頻度は減ったのか。
- ②補足給付が始まっているが、どのぐらいの方がどの程度、負担増になるのか。
- ③介護人材育成研修業務委託の概要と成果を問う。
- ④高額サービス経費に流用している理由を問う。

意見

意見はありませんでした。

下水道事業会計

質疑

- ①東平山排水区工事における施工ミスへの対応と工事費を問う。
- ②公営企業会計への移行に当たって、職員の業務負担を問う。
- ③次期下水道プランの策定状況を問う。

意見

①純利益が黒字で、公営企業会計移行により、いろいろな数値が見えてきたことを評価する。

区画整理事業特別会計

質疑

- ①川辺堀之内区画整理組合の具体的な是正の取り組みを問う。
- ②区画整理事業について、根本的な見直しが必要と考えるが、市の見解を問う。
- ③川辺堀之内区画整理事業の残事業を精査する中で、具体的に何を行うことがあるか。
- ④組合施行の区画整理事業で、川辺堀之内地区以外で凍結している事業はあるのか。

意見

①代行買収について、解決に向けて早急な対応を求める。
②川辺堀之内地区の残事業整理の対応を求める。
③区画整理事業は、まちをつくる上で必要な事業である。

市立病院事業会計

質疑

- ①医療従事者の充足ほか、コロナ第6波に対する市の認識を問う。
- ②都から要請のあったコロナ病床数、確保病床数、最高で病床まで受け入れたか、また、現状を問う。
- ③ハラスメントの相談体制の構築と周知を問う。
- ④延べ患者数、病床利用率が激減した理由を問う。
- ⑤市民に選ばれる病院になるための、今後の病院経営を問う。

意見

①アフターコロナ、ウィズコロナの中で、公立病院としての立ち位置を検討してもらいたい。

決算を審査

予算は正しく使われたのか？ 成果をあげられたのか？

？ 決算の認定とは 予算が収入・支出の見積りであるのに対し、決算は収入・支出の結果です。決算の認定とは、予算がどのように使われ、いかに成果を上げたのかを議会が市民の立場に立って審査・判定し、適正であると認めることです。

一般会計

歳入全般

質疑

- ①雑入の収入未済額約2億円は、主にどの部分で未済になっているのか。
- ②法人市民税について、コロナによる営業活動の自粛の影響はあったのか。
- ③市町村総合交付金の内訳を問う。
- ④財政調整基金の今後の動向を問う。

衛生費・労働費

質疑

- ①コロナとインフルエンザについて、同時期に接種するような状況になるのではないか。
- ②ハクピシン等防除業務委託の実績を問う。
- ③コロナ感染症は災害医療体制整備経費に含まれるのか。
- ④生活習慣病予防関連事業の実績と今後の展開を問う。
- ⑤PCR検査の要綱を改正し、積極的に検査を行う考えはないか。
- ⑥プラスチック類資源化施設により、再資源化が進んだのか実績を問う。

教育費・公債費・諸支出金・予備費

質疑

- ①小・中学校学習用端末タブレットの破損事例を問う。
- ②就学援助費の要保護・準要保護の割合と支給基準を問う。
- ③都内、市内の不登校者数と、教育委員会の考えを問う。
- ④小学校体育館へのエアコンの早期設置を問う。
- ⑤小・中学校移動教室、修学旅行代替行事を問う。

議会費・総務費

質疑

- ①外国人学校児童・生徒保護者補助金を問う。
- ②市におけるテレワークの在り方を問う。
- ③ハラスメント相談に関して、実名を挙げるのが怖いのか、といった調査をしたのか。
- ④パートナーシップ条例の制定時期を問う。
- ⑤現状の入札制度に問題がないか、調査すべきではないか。
- ⑥東京2020オリンピック・パラリンピック経費について、障害のある方の力を借りて準備を進めたことなどが、どのような準備をしたのか。

農業費・商工費・土木費・消防費

質疑

- ①木造住宅耐震化の補助金の交付要件を問う。
- ②豊田駅バリアフリー施設のみ、公費が投入されている理由を問う。
- ③TOYODA BEERの令和2年度事業実績と展開を問う。
- ④緑と清流の総合管理業務の報告書を作成できないか。
- ⑤都市計画道路3・4・24号線整備の再開に要する費用を問う。
- ⑥舗装補修材ほかと、道路舗装補修事業経費が、令和元年度比で減少した理由を問う。

民生費

質疑

- ①リハビリテーション専門職による訪問支援事業の背景と成果を問う。
- ②市がシルバー人材センターに業務を委託するに当たり、新型コロナウイルス感染症対策はとられているのか。
- ③子どもと保護者の生活実態調査の目的を問う。
- ④「ほっとも」の運営で、子どもの貧困の連鎖を断ち切るために、今後必要なことを考えているか。
- ⑤第三者実態調査委員会の議事録を出せないか。
- ⑥ひとり親家庭家賃助成、住居確保給付金の利用状況を問う。
- ⑦生活保護適正実施推進事業について、改めて適正化の取り組み、生活保護利用者の推移、東京都の指導検査の結果、ケースワーカーの配置基準、研修体制について問う。

総括質疑

質疑

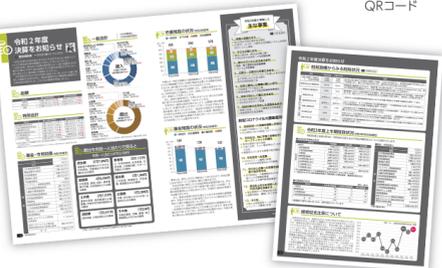
- ①令和2年度内部統制に資する取り組みを問う。
- ②緊急通報システムの利用者数を問う。
- ③コロナ禍でのSDGsの取り組みを問う。
- ④第三者実態調査委員会委員謝礼について問う。
- ⑤コロナ禍での市民の暮らしを守る行政運営はどうだったか。
- ⑥周辺環境整備費は、いかに利用されて、どのようなものに費用が分配されてきたか。

解説は『広報ひの』に

令和2年度決算内容の解説は「広報ひの11月1日号」の8ページから10ページに掲載されていますので、併せてご参照ください。



広報ひのホームページQRコード



皆さんからの



請願

第3回定例会では、4件の請願が新たに提出され、所管の常任委員会が審査が行われました。定例会最終日の本会議の審議結果は、次のとおりです。

付託先	請願の件名	結果
企画総務委員会	人道上の見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請する意見書を提出することを求める請願	不採択
民生文教委員会	補聴器の購入に補助制度の実現を求める請願	採択
環境まちづくり委員会	日野都市計画事業豊田南土地区画整理事業施行規程を定める条例(審議会の運営)第18条第5項「市長は、法に定められた事項のほか、必要があると認められる事項については審議会に諮問してその意見を求めることができる。」を削除することを求める請願	不採択

請願や陳情の提出方法は、日野市議会のホームページにも掲載しています。詳しくは、議事事務局へお問い合わせください。



陳情

賛成

令和2年度においては財政非常事態宣言、新型コロナウイルス感染症防止対策経済対策としての財政行動と相対する予算執行に、並々ならぬ苦辛と苦労があったことと推察します。歳入が約95億円で前年度比約25%増、歳出が約約24%増となり、度比約2%の増減となりましたが、予想以上に国や都からの支出金が入ったことで、

財政状況を示す指数は改善し、結果として「良かった」と胸をなでおろす決算でありましたが、懸念する点について4点提案します。

①財政再建に向けて各部署、職員がバラバラに努力をするのではなく、各部署が連携し、一体感と

危機感を持つて体制は改善し、結果として「良かった」と胸をなでおろす決算でありましたが、懸念する点について4点提案します。

①財政再建に向けて各部署、職員がバラバラに努力をするのではなく、各部署が連携し、一体感と

反対

決算反対の理由を2点述べます。

1点目は、コロナ対策が不十分であること。2点目は、「財政非常事態宣言」下の財政運営が関連していることです。

対応・子育て支援について現場専門職員の増員・育成、体制の拡充③交通安全管理員の復活④小学校体育館エアロ設置を実施・完了させること⑤子どもの人権を尊重する観点から校則の見直し⑥交通空白地域解消策としてデマンド型交通

経費・公共事業の量・質とも見直しをすめ、市民の暮らしを守り、困窮する事業者の営業を支えるため有効に生かすこと。2点目は、元副市長問題など市の行政の至んたたり方姿勢を改めるため、情報の徹底的な公開と市民・当事者の参加による自治を徹底することで市政を立て直していくことを求めます。

賛成

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の阻止から始まり、現在に至るまでその死闘は続いています。そうした中、市はいち早く「令和2年度の市政運営方針」を定め、事業展開を実施し結果として、市債は1億1千万円、財政調整基金では1億7千万円で抑え、バランスの取れた予算執行が果たされたと評価します。

歳出について意見は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の阻止から始まり、現在に至るまでその死闘は続いています。そうした中、市はいち早く「令和2年度の市政運営方針」を定め、事業展開を実施し結果として、市債は1億1千万円、財政調整基金では1億7千万円で抑え、バランスの取れた予算執行が果たされたと評価します。

税が前年度比約6億円の減となりました。引き続き市税の動向に注視し柔軟な市政運営を期待します。歳出については、①入札について、新型コロナウイルス感染症対策経費として国庫支出金の歳入により多額の増えましたが、自主財源の根幹である市税は前年度比1.6%減の約306億円となり、市民

賛成

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の阻止から始まり、現在に至るまでその死闘は続いています。そうした中、市はいち早く「令和2年度の市政運営方針」を定め、事業展開を実施し結果として、市債は1億1千万円、財政調整基金では1億7千万円で抑え、バランスの取れた予算執行が果たされたと評価します。

税が前年度比約6億円の減となりました。引き続き市税の動向に注視し柔軟な市政運営を期待します。歳出については、①入札について、新型コロナウイルス感染症対策経費として国庫支出金の歳入により多額の増えましたが、自主財源の根幹である市税は前年度比1.6%減の約306億円となり、市民

税が前年度比約6億円の減となりました。引き続き市税の動向に注視し柔軟な市政運営を期待します。歳出については、①入札について、新型コロナウイルス感染症対策経費として国庫支出金の歳入により多額の増えましたが、自主財源の根幹である市税は前年度比1.6%減の約306億円となり、市民



意見

一般会計決算の認定に賛成か、反対か

～各党派の総括意見(要旨)

令和2年度 歳入 1,438億6,125万円 (前年度比17.3%増)
歳出 1,415億4,777万円 (前年度比17.2%増)

会計別	歳入	歳出	前年度比
一般会計	915億4,278万円	885億322万円	28.0%増
特別会計	523億1,847万円	530億4,455万円	2.4%増
国民健康保険	153億6,344万円	152億2,044万円	4.2%減
土地区画整理事業	29億5,726万円	28億4,460万円	14.4%減
下水道事業特別会計	0	0	皆減
介護保険	143億2,718万円	143億1,052万円	2.0%増
後期高齢者医療	45億2,418万円	45億2,060万円	1.4%増
市立病院事業	100億7,538万円	99億4,151万円	13.4%増
下水道事業	50億7,102万円	62億688万円	7.7%増

(注)金額は各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。
(注)令和2年度から下水道事業に地方公営企業会計を適用し、「下水道事業特別会計」から「下水道事業会計」に移行しています。

*議会だよりでは、議員からの質疑、意見のみ掲載しています。決算委員会の質疑や答弁の詳細については、会議録で全文を確認できます。会議録は、図書館・市政図書室での閲覧、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。